

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】



米兵の性暴力をなくそう 沖縄県民大会に連帯し東京・新宿で宣伝 安保・革新懇呼びかけに14団体50人参加

12月23日昼、安保破棄中央実行委員会と全国革新懇が呼びかけ、22日の「米兵による少女暴行事件に対する抗議と再発防止を求める沖縄県民大会」に連帯する宣伝行動が東京・新宿駅前で行なわれました。

行動には、プラカードを掲げてアピールした全日本民医連・東京民医連の15人をはじめ14団体から50人が参加。ハンドマイクでの訴えと、「日米地位協定の抜本改定」「辺野古新基地反対」の2つの署名を行ないました。



2024-No.11
2024年12月24日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061東京都千代田区神田三崎町2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

訴えは、日本共産党・辰巳孝太郎衆院議員、全国革新懇・小田川義和代表世話人、安保破棄中央実行委員会・東森英男事務局長、全労連・高木りつ副議長、全商連・後藤和子婦人協副会長、食品一般ユニオン・北川順子さん、婦人民主クラブ・山田博子会長、新婦人・平野恵美子副会長、東京革新懇・今井文夫事務局長、日本平和委員会・岩本悟さんがおこないました。



弁士はそれぞれ、人間の尊厳を踏みにじる米軍の性犯罪と、日米両政府の隠ぺいりに抗議し、再発防止のために日米地位協定の抜本改定の必要性を訴えました。そして、犯罪の原因である米軍基地の撤去と辺野古新基地建設の中止の声を上げようと呼びかけました。

通行人が話を聞き、署名に応じ、1時間で33筆が集まりました。